

# みんなdeスポーツ! わが町の取り組み

愛知県

②4

知的障害教育校高等部生徒の中には、スポーツを通して人格形成と体力の向上を目指している生徒が多く在籍している。本県では、日頃の運動部活動の成果を発表する場として、30年以上前から「愛びっく」という名称で陸上競技やバスケットボール、フライングディスクなどの各種スポーツ大会を開催してきた。15年前からはサッカーも加わり、愛知県立、名古屋市立、豊橋市立の知的障害教育校16校が参加している。

主催は、愛知県知的障害教育校長会と愛知県知的障害教育校体育連盟。協賛企業のご支援を頂きながら、障害者スポーツの推進に取り組んでいる。これらの取り組みから、全国障害者スポーツ大会や市町村が開催する各種大会に参加するなどのステップアップを見せている。

的をめがけてディスクを投げる生徒



## 「愛びっく」はじめ多彩な大会開催

中でも、リオパラリンピックス陸上競技に出場した2人の卒業生の勇姿は、関係者に強い印象を残した。

FIDソフトボール大会やIDバレーボール大会にチャレンジするなど、生徒の明確な目標となる大会も増加している。卒業生チームも数多く活動しており、生涯体育・スポーツへの発展を実感する。駅伝王国と自負する本県では、今冬には第1回の駅伝&ミニマラソン大会を開催するなど、競技種目の多様性も見られる。FIDバスケットボールで海外の大会に挑むアスリートがいる。みんなde楽しく参加することに喜びや目標を持つ市民ランナーがいる。生徒個々に応じた取り組みを設定することで、卒業後も健康で活力ある社会生活が送れるよう引き続き支援を続けていきたい。

(黒谷厚志・愛知県立豊田高等特別支援学校校長)

※FID = for Players with an intellectual disability ID = intellectual disability